



応募書類の作成について

応募者は、所定の応募様式にしたがって様式1に記入し、事務局に2部提出して下さい。様式2、添付資料、プレゼンテーション用資料は予備選考で選考委員会に上申された場合に説明する資料ですので、事務局の連絡に従って提出して下さい。書式様式は、日本鍛圧機械工業会ホームページ(会員ページ)からダウンロードできます。

- ①(様式1) 応募に関する基本情報(応募の際に提出)
 - ・成果の題目加工製品、成果の題目(内容)、各要素の役割と寄与
 - ・応募者情報・応募案件の概要 等
- ②(様式2) 応募内容の詳細説明(事務局からの上申決定通知後に提出)
 - ・応募案件の詳細(技術的独創性及び新規性、経済性・市場性への貢献、労働環境・地球環境向上への貢献)・知的財産権・表彰歴
 - ・研究論文やメディア紹介 等

- ③ 添付資料(様式1、様式2提出時にそれぞれ提出)
 - 成果の概要(様式1)並びに成果の詳細(様式2)を補足する写真・図面類、カタログ、論文、記事等の公表情報を添付してください。対象加工製品の写真及び鍛圧機械のカタログ・写真は必須です。なお、審査により受賞した案件の写真は、ニュースリリースやパネル作成等で使用します。
- ④ プレゼンテーション用資料(上申案件のみ必要)
 - 選考委員会で説明する際の資料です。PowerPoint等のスクリーン資料やビデオ等の動画、加工製品現物(サンプル)を含みます。

応募製品の訴求について(様式1は簡潔にアピール、様式2は詳述してアピール)

応募者は、応募時に①技術的独創性および新規性 ②経済性、市場への貢献 ③労働環境、地球環境向上への貢献以上3つの項目について、応募段階の(様式1)では、簡潔に、上申決定後の(様式2)では詳述しアピールしてください。3つの項目に濃淡があっても構いませんが、特に高い評価に

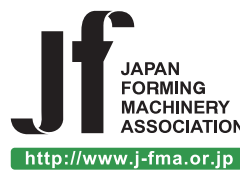
値すると考えられる“光る要素”について、その成果を明確に記述してください。
応募様式の記入例を用意しましたので、参考にしてください。
 ※日本鍛圧機械工業会ホームページ(会員ページ)からダウンロードできます。

注記

- (1) 応募時の確認事項について
 - 応募者は、応募時点において次の項目を確認してください。
 - ① 応募提出書類の内容に間違いや虚偽・不正がないこと。
 - ② 応募することあるいは受賞後の内容公表について、関係者全員の了承を得ていること。
 - ③ 応募内容に関する特許権等の知的財産権に関して、関係者との調整が完了していること。
 - ④ その他、応募対象および内容がMF技術大賞の趣旨に適合していること。
- 予備審査までに確認できない場合および応募者からの辞退申し出があった場合は、応募を取り消すことができるものとします。

- (2) 個人情報等の取扱いについて
 - 選考委員および事務局員は、機密保持を遵守します。また、選考審査が一部の利害に偏ることなく公正かつ公平に遂行されるよう倫理的に行動するものとします。
 - 募集において入手した企業情報および個人情報、審査および表彰の目的以外では使用しません。提出された書類(原本)および関係物品は全て応募者に返却します。
- (3) 運営上の制限事項
 - 日鍛工会長(贈呈者)会社および技術委員長(選考委員会副委員長)会社、予備審査部会会社も応募可能ですが、委員は自社の応募案件について意見を述べることもおよび評価・選考に参加できないものとします。

- MF技術大賞には表彰盾と賞金100万円を、MF技術優秀賞には表彰盾と賞金20万円を授与します。受賞製品パネルをMF-Tokyo 2017で展示します。
- MF奨励賞を今回から新設しました。
- 発表は2016年12月で、表彰式を2017年1月に行います。
- 応募期間は2016年1月1日～7月31日必着



一般社団法人 日本鍛圧機械工業会
 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8
 TEL.03-3432-4579
 FAX.03-3432-4804

お問い合わせは
 (日鍛工会員名や連絡先等のご記入にご利用ください)

鍛圧機械3つのコラボ

MF-Tokyo 2017 「MF-Tokyo 2017」
 プレス・板金・フォーミング展



MFエコマシン認証制度



MF技術大賞

2016-2017 METAL FORMING TECHNICAL GRAND PRIZE

MF技術大賞

募集要項(募集期間:2016年1月1日～7月31日必着)



その先の未来へつなぐものびん



主催
 ■ 一般社団法人 日本鍛圧機械工業会

特別協賛
 ■ 一般社団法人 日本塑性加工学会
 ■ 一般社団法人 日本金属プレス工業協会

■ 一般社団法人 日本鍛造協会
 ■ 一般社団法人 日本金型工業会

その先の未来へつなぐ、ものづくり

MF技術大賞 2016-2017年 募集要項

「MF技術大賞」は、Metal Forming (MF) に不可欠な鍛圧機械、製品加工、研究などの7つの要素を組み合わせた、鍛圧機械の世界最高級の大賞です。高精度・高生産性ならびに安全・環境性能を顕著に有するトータルでエコな製品製作の成果を国内外に発信し、鍛圧塑性加工技術の発展に寄与することを目指します。鍛圧機械の良さを最終製品の良さを証明するため、鍛圧機械メーカーと加工メーカーなどの「ものづくり総合力」を発揮されたグループを表彰します。

MF技術大賞 応募概要

- 7要素を効率的に組み合わせて創出した、鍛圧機械の「ものづくり総合力」。
- 高精度・高生産性並びに安全・環境性能を顕著に有するトータルでエコな製品製作の成果。



※ 2社2要素以上で応募。「鍛圧機械」と「製品加工」は必須

募集期間

2016年1月1日～7月31日

日本鍛圧機械工業会 事務局 必着。

応募方法

日本鍛圧機械工業会会員が応募代表者となり、応募案件を満たすと判断したら応募案件の構成要素をとりまとめて所定の応募書類様式に記入し、日本鍛圧機械工業会事務局に2部提出してください。

※ 応募書類様式は日本鍛圧機械工業会ホームページよりダウンロードできます。

※ 作成方法の概要を次ページに記載します。

HP <http://www.j-fma.or.jp>

表彰対象/応募製品の条件

鍛圧機械等(レーザ切断機、プラズマ切断機を含む)を使って加工した製品で、次の内容を満たすものとします。

- ① 技術面での独創性、新規性を有し、産業界の発展および労働環境・地球環境向上への貢献の観点からトータルで顕著な成果をあげていることが第一条件となります。
- ② 「鍛圧機械」と「製品加工」を必須とし、「研究」「素材」「金型」「システム」「製品組立」等も選択出来ます。応募は2社2要素以上が必要です。
- ③ 対象となる加工製品は、市場導入後概ね10年以内のもので、1年程度の販売実績を有することとします。現在も生産中か否かは問いません。
- ④ 海外からの技術導入、助成金や補助金を受けて研究・開発したもの、他の表彰を受けたもの等の如何は問いません。

応募料

「MF技術大賞」への応募は無料です。

MF技術大賞制度 運営概要

MF技術大賞応募期間 (2016/1/1 ~ 7/31)

製品加工メーカー・鍛圧機械メーカー等が応募代表者となる会員企業と応募

応募内容確認期間 (2016/1/1 ~ 7/31)

日鍛工が応募内容を確認

受賞候補を選出 (2016/10)

予備審査部会で受賞候補を選出

受賞者の決定 (2016/12)

選考委員会で受賞者の決定、理事会の承認

表彰式 (2017/1)

賀詞交歓会に併設する表彰式にて表彰盾・賞金の贈呈

受賞製品展示: MF-Tokyo 2017

MF-Tokyo 2017 会場で受賞製品パネルを展示

選考方法

- ① 予備審査部会において内容確認・評価・受賞候補の選考を行います。
- ② 予備審査の結果を受けて下記、委員からなる選考委員会で最終選考を行い、理事会において承認し決定します。
- ③ 工場等の現地審査は行いません。

MF技術大賞

原則3件以内を表彰いたします。賞金はそれぞれ100万円です。

MF技術優秀賞

原則6件以内を表彰します。賞金はそれぞれ20万円です。

MF奨励賞

今後MF技術大賞およびMF技術優秀賞に値する事が期待される案件を表彰します。

発表/表彰状の贈呈/受賞製品の展示

- ① 「MF技術大賞」「MF技術優秀賞」「MF奨励賞」は会長名で各応募代表者に通知すると共に、関係紙誌にニュースリリースを発信し、日本鍛圧機械工業会ホームページおよび会報「METAL FORM」で公表します。
- ② 「MF技術大賞」と「MF技術優秀賞」の表彰盾および賞金は、2017年の賀詞交歓会に併設する表彰式において贈呈します。「MF奨励賞」の表彰盾は応募代表会社(日鍛工会員)に郵送します。
- ③ 「MF技術大賞」と「MF技術優秀賞」は、事務局にて受賞製品パネルを作製し、表彰式とMF-Tokyo 2017において展示します。

主催

一般社団法人 日本鍛圧機械工業会

特別協賛

- 一般社団法人 日本塑性加工学会 ● 一般社団法人 日本鍛造協会
- 一般社団法人 日本金属プレス工業協会 ● 一般社団法人 日本金型工業会

応募書類の提出先/お問い合わせ先

一般社団法人 日本鍛圧機械工業会 事務局
〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館3階
TEL.03-3432-4579 / FAX.03-3432-4804 E-mail:info@j-fma.or.jp

MF技術大賞 2014-2015 受賞者・受賞製品

- 旭サナック株式会社 (圧造機械: SGF シリーズ パーツフォーマ)
 - 株式会社デンソー (愛知県刈谷市)
- 受賞商品 圧造機による自動車エンジン用ハウジング部品加工

- 株式会社アマダ (デジタル電動サーボプレス: SDE/SDEW シリーズ)
 - アイシン・エイ・ダブリュ株式会社 (愛知県安城市)
- 受賞商品 サーボプレスとインデックス装置によるキャリアカバー加工

- 15000kN/7500kN シートストレッチャー
 - 川崎油工株式会社 (兵庫県明石市)
 - 川崎重工業株式会社 (兵庫県神戸市)
 - 川重テクノロジー株式会社 (兵庫県明石市)
- 受賞商品 油圧サーボ制御によるシート加工

MF技術優秀賞 2014-2015 受賞者・受賞製品

- アイダエンジニアリング株式会社 (サーボプレス: DSF-N1 シリーズ)
 - 大豊工業株式会社 (愛知県豊田市)
- 受賞商品 サーボプレスによるエンジンベアリングハウジング加工

- アイダエンジニアリング株式会社 (シングルクラックプレス: 精密成形機UL シリーズ)
 - 株式会社豊島製作所 (埼玉県東松山市)
- 受賞商品 精密成形機によるパイプナットエフサス加工

- コマツ産機株式会社 (鍛造サーボプレス: HIC シリーズ)
 - 京都機械工具株式会社 (京都府久世郡御山町)
- 受賞商品 サーボプレスによるロングソケット加工

- コマツ産機株式会社 (ACサーボプレス: HIF シリーズ)
 - 有限会社 田村製作所 (長野県東御市)
- 受賞商品 サーボプレスによるギヤシフト部品鏡面加工

- 住友重機械工業株式会社 (冷間鍛造サーボプレス: FPS-1200)
 - 株式会社 ヤマナカゴキーン (千葉県佐倉市)
 - 株式会社 ゴーシュー (滋賀県湖南市)
- 受賞商品 4軸複動サーボプレスによるダブルフランジチューブ鍛造

- 村田機械株式会社 (サーボ駆動CNCレーザパンチプレス: M2048 HL)
 - トームックス株式会社 (埼玉県川口市)
- 受賞商品 サーボ駆動レーザパンチプレスによる納銅板加工

MF技術大賞2016-2017年選考委員会

委員長

石川 孝司 中部大学 工学部 機械工学科 教授 (名古屋大学 名誉教授)

副委員長

北野 司 一般社団法人 日本鍛圧機械工業会 副会長、技術委員長 アイダエンジニアリング株式会社 取締役 上席執行役員 営業本部 本部長

委員

高橋 進 日本大学生産工学部 機械工学科 教授
柳本 潤 東京大学生産技術研究所 教授 予備審査部会 部会長
渡邊 政嘉 一般社団法人 日本機械学会 イノベーションセンター センター長
井上 尚行 一般社団法人 日本鍛圧機械工業会 専務理事